

(別紙4-2)

目標達成計画

事業所：グループホーム蔵発寒

作成日：平成24年3月16日

市町村受理日：平成24年3月21日

【目標達成計画】

優先順位	項目番号	現状における問題点、課題	目標	目標達成に向けた具体的な取り組み内容	目標達成に要する期間
1	35	災害時における備蓄品の整備と家具の固定が不十分である。	災害時における備蓄品（水、食糧、おむつ、毛布など）を最低3日分備える。また、備え付けの家具の固定、ベッドとの位置関係を見直し、安全の確保を行う。	備蓄品チェックリストを作成し、毎月防災の日（毎月15日）に賞味期限などの確認を行う。家具の固定は自由にレイアウトできるように突っ張り棒やマットなどで工夫する。	2か月
2	3	運営推進会議の議事録を閲覧できるように掲示しているが、送付していない。	運営推進会議の議事録を出席者、欠席家族に送付し、内容を共有し、運営推進会議の質の向上とグループホームのサービスの向上に活かしていく。	出席者全員、欠席家族に議事録を送付する。出席者には次回案内文に、欠席家族には領収書送付に同封する。平成24年度実施分より行う。	2か月
3	26	介護計画作成後のモニタリングがモニタリングシートに十分記録されていない。	カンファレンス、総合カンファレンスの検討内容をモニタリングシートに反映し、記録に残す。	計画作成者は、モニタリングの必要な時期に、カンファレンス、総合カンファレンスに話合ったことを指定のモニタリングシートに記入する。	1か月
4	6	身体拘束の11項目がマニュアルに記載されていない。	身体拘束の11項目を職員全員が正しく理解でき、身体拘束をしないケアに取り組む	身体拘束の11項目を介護記録など目につきやすいところに綴る。年1回は「身体拘束・虐待防止」の職員研修を行い、身体拘束の正しい理解を深める。	1年間
5					

注1)項目番号欄には、自己評価項目の番号を記入して下さい。

注2)項目数が足りない場合は、行を追加して下さい。